

磐城時報

印刷所 磐城時報社
印刷部 磐城時報社
電話 一四七
代金 一ヶ月金拾五拾
廣告料 一行十四字 拾五拾
▲日刊(日曜、祭日)休刊

小名濱の商港修築 愈々本工事に入る

先づ防波堤と防砂堤 事務所も新築落成

小名濱港の修築計画は本年度のした豫算実行について善後策を事業費九萬圓を計上され着工の協議する。準備中であつたが、先づ從來借家をしてゐた修築事務所が同町宇古港漁業組合附近に新築落成したので新應舎に移轉し、十月中旬から本工事に着手する事になつた、本工事は正面の防波堤及び側面の防砂堤工事から始める豫定であるが、防波堤水深二十五尺の箇所に幅四間のコンクリート堤を造る筈で、その長さ三百間、防波堤のみで百萬圓の巨費を要すると。

青年訓練所 聯合會役員

石城郡青年訓練所聯合會役員は九月二十五日現在左の如くである。
▲會長 曾我直治、▲副會長 吉田庄太郎、仲村辰四郎
▲評議員 二階堂誠一、西山料調、髪髮を發行交付する事になつた。

無料調髪

平町理髮組合では協議の結果平町の貧困児童約六十名に對し無料調髪を發行交付する事になつた。

平町會召集 國調費追加

平町會は二十九日召集し國勢調査費として四百圓の追加豫算について協議する。

水道工事委員會

平町水道擴張工事の鐵管並にセメント購入の委員會は三十日午前十時から開催する。

木炭評議員會

郡木炭同業組合評議員會は十月三日午前十時から平町事務所にて開き過般の臨時總會に於て決定

稅務署の土地調査で 滑稽な事實が續出

平町稅務署では過般來管内の無届介、稅務署でも調べたが全くか異動地について詳細なる調査をする土地がないものと判明した。なしてゐたが、その結果稅務署又尋ねれば平町前に平町有の豪帳に掲載されてゐるのに實際の原野がある筈で當局では年税金を拂つてゐるが附近に原野のある筈なくこれも何等かの間違であらうと調査中である。

南相小學校長會

相馬郡南相各町村小學校長會は廿五日原町公會堂に於て開催、氣付いて十七日朝七時頃歸宅して發見家は愈々慘憺たるもの外、隠しに家人へは栗の木よりである。

事故を起した運轉手に 營業停止を命ず

縣保安課では不注意に依り自動車事故を惹起せしめた在記運轉手を二十六日それぞれ就業停止の處分に附した。

野球試合

石城郡湯本町入山炭礦野球部では来る二十八日午前十時から東京市オール大倉野球選手を豫へ入山球場で野球試合を舉行する

機關庫泥棒

石城郡湯本町生れ當時住所不定無職星野六平(三三)は平機關庫休憩室に脱いであつた洋服のポケットから現金二十五圓を窃取して二十五日石城郡内郷村大字宮を徘徊中平署刑事に捕はれた

橋谷田部長の榮譽

平警察署巡查部長橋谷田千代壽氏は警察官の論文に「警察事務能率増進上外勤駐在巡查の勤務方法改善について」を提出し佳作に選ばれた。

相馬支局通信

去る十七日原町驛北方踏切附近落ちて怪我したのだとて原町齋の鐵道線路及び、附近の草叢中鮮血生々しくあり、附近に酒療中の者と判明した。

草むらに謎の鮮血

去る十七日原町驛北方踏切附近落ちて怪我したのだとて原町齋の鐵道線路及び、附近の草叢中鮮血生々しくあり、附近に酒療中の者と判明した。

原町地方の蘭價

漸やく出廻り初めは日最盛原町次郎(四〇)が泥酔して一升に暴落となり二三日前迄二十五六圓の弊ありしも二十三日から二十圓と下り、けふは十五六圓となり、尚ほ、下落の模様氣付いて十七日朝七時頃歸宅して發見家は愈々慘憺たるもの外、隠しに家人へは栗の木よりである。

祝 創刊五千號

縣會議員 古川傳一

山崎 登

金成 通

平町字新川町 諸橋吳服店 電話 五十番

平町字大工町 多田井質店 電話 五九一番

平町字二丁目 三井履物店 電話 一五六番

橋から轉落

少年即死

石城郡小川村大字上小川定助二男鈴木石雄(十五)は二十五日附近吉田源吉と共に山から枕木をソリに積んで運搬の途中高さ一丈余の夏井川支流に差しかつた際誤つて枕木を積んだソリと共に橋から轉落し頭部を枕木に打たれて頭蓋骨を粉砕即死した。平署から阿部部長出張検死した。

落磐で重傷

内郷村大字宮字峯根磐城炭礦坑夫大高邦(二四)は二十三日午後十一時四十分頃磐城炭礦第三斜坑で作業中落磐のため頻死の重傷を負ふた。

相馬支局通信

雷神社の昇格

郡原町西在に鎮座せる村社雷神社は今回指定村社となりこれが昇格祭典を盛大に執行する事となり、期日及び方法等につき近日協議會を催すと。

原町競馬

有名な原町競馬も来月四日からとて毎朝暗がりからの練馬は數十頭に上り、今回は申込み百頭を突破しそれに縣外及縣内等から新馬申込み多きに人気すばらしく新増設の鐵筋コンクリート觀覽席も一雨日中に竣工を見る筈で地方競馬としては遜色なしである、今回懸賞典は銀製大カップと決定し三日十一競馬の一着の手に獲られる譯である、關係者の某氏は先づ賣上げ七萬と鼻息きながかく強い。

相中運動會の呼物

廿四日相馬中學校陸上運動會中の呼であつた郡内小學校生徒の優勝旗争奪リレーは應援團の熱狂と一般觀覽者の觀呼の裡に何れもよく戦ひたるも遂に尋常校は八澤校に、高等校は原町校に獲られた、昨年も原町校で獲得した連勝の同校の意氣や當るべからずであつた。

原町常設館便り

獨逸アーソー社超特作たるサベカスレグエーの交響樂スパより原町旭座に於て午後八時が不景氣知らずの大人氣を呼んだ。

勿來紀行

(上) 永尾生
滿山漸く秋色に包まれんとする勿來山と、風雅な古關、勿來關趾を訪ね様とS氏と二人で、うらさびた常磐線勿來驛に降りたのは、九月のすつきりと晴れた日の晝前であつた。可成り前からの計劃であり

病院向きの

貸家を求む

(姓名在社)

蒲

例年の通り御下命御最負に預り度く願ひます。

藤市蒲銚店

電話三〇五番

御用採

姓名 時計 銀蓋
生年月日 一九三〇年十月一日
原籍地 大日本東京市
寄留地 平町三丁目
特長 稱 長
計會社・東京時計會社
示時正確價格安く永久品
(目印ハ)

大谷時計病院 デアリマス
電話十九番

蒲銚製造販賣開始

夏期水営業中は特別の御引立を蒙り有難く御禮申上ます。
扱て愈々蒲銚の期節が到来しましたので本日より製造販賣を開始致しましたから從來同様御最負に預り度く願ひます。

蒲銚 平町一丁目

吉原あけ 藤寅
電話一四一番

電話開通

四倉六十一番

石島徳長

營業所 平町白銀町十番地 電話平二六五〇番
出張所 四倉町字本町東通 電話四倉六一番

耳鼻咽喉科

應入 需院 合津醫院
電話五五九番

皆様の

昭和タクシー

此際御得意様本位に貸切料金の値下斷行

何卒御用命を
平驛前 電話三四三番

ラヂウム温灸器

胃腸病の必治法

福島縣平町五丁目二八
志賀齒科醫院

福島縣平町白銀町九
關口悦子

「温灸治療法」百三十頁の美本無代進呈



平山野邊
平町五丁目
角目局

耳鼻咽喉科 氣管食道科

病室完備：自炊の便あり
平町南町 大和田醫院
電話一七〇番